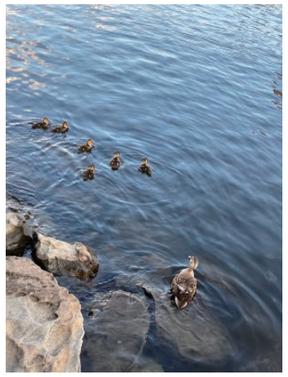
読者ギャラリー

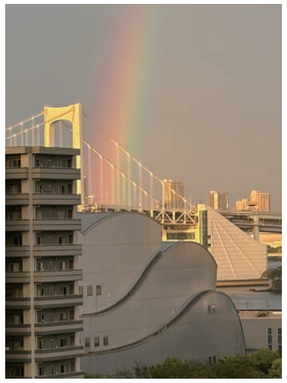
芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、とっておきの作品をお送りください。
写真のほかに、俳句や川柳、イラストでも応募できます!
読者の皆さんで「べいあっぷ」を盛り上げてください。力作お待ちしています!



港南MOGA子さんの作品『天を引き裂く光』



ぽんさんの作品『無事に育ってね』



アンクルさんの作品
『レインボーブリッジと虹』



周月明さんの作品『雲を衝く』



ニコさんの作品『東京湾威風堂々』

次回の締切は
12月8日(火)必着です。



まりあ月のぱぱさんの作品『東京湾を彩る夜の貴婦人』

※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

応募方法

次号は3月上旬発行予定です。芝浦港南地区の作品にタイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返却希望の有無・ペンネーム(希望者)を明記の上、べいあっぷ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応募ください。

作品の送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
TEL：03-6400-0031 FAX：03-5445-4590
E-mail：sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

べいあっぷ 編集部では全員がボランティアで参加する区民編集委員と芝浦港南地区総合支所のスタッフが協働して、企画・編集しています。より良い誌面を作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております(送り先は下記へ)。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあっぷ編集部
〒105-8516 港区芝浦1-16-1
TEL：03-6400-0031 FAX：03-5445-4590
E-mail：sk-kuminnokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報誌にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号などの個人情報は、作品の返送および事務連絡に利用します。また、取扱いについては個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理します。

編集後記

今般、全国各地で集中豪雨による災害が相次いで発生しております。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早く平穏な暮らしが戻りますことをお祈り申し上げます。今号の「芝浦港南地区公共施設探訪」では、集中豪雨時などに重要な役割を担う芝浦水再生センターをご紹介しています。同センターは、下水を処理するだけでなく、雨天時貯留池などの機能により、水害からまちを守る役割も担っています。本誌が、地域の行事への参加や、日頃の防災について考えるきっかけとなれば幸いです。今後とも、皆さまの暮らしに役立つ情報をお届けしてまいります。

梅村 隆

べいあっぷ編集部
梅村 隆／大波 佳恵／大橋 直／岡田 美紀子
小坂 靖浩／斎藤 まさのぶ／佐藤 啓／須古 邦子
塚本 みか／中川 清光／高木 美世／林 淳一
林 哲平／廣田 幸子／M.H.／山口 ゆかり
横山 仁／MESLER JONATHAN

MINATO CITY

本誌のバックナンバーは港区ホームページで閲覧することができます。

暮らしの疑問、まとめて「みなとコール」でお答えします。
午前8時～午後8時
FAX：03-5777-8752
港区コールセンター みなとコール
ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)
03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のりとじ」にしています。
発行番号 2026052-2435

芝浦港南地区情報誌 [芝浦、海岸2・3丁目、港南、台場]

べいあっぷ 第76号

人と人、町と町をつなぐ ―ふれあい情報誌―

令和8(2026)年11月

港区ベイエリア新名所レポート 東京アクアシンフォニー …… 2
連載 芝浦港南地区公共施設探訪【第1回】芝浦水再生センター …… 4
連載 べいあっぷ編集委員がおすすめする地域のスポット【第33回】お台場の3区境界線 …… 6
連載 編集委員が選んだ おすすめグルメスポット【VOL.7】品川台場食堂 …… 7
芝浦港南地区総合支所からのお知らせ／都税のお知らせ …… 8
区政80周年・水辺フェスタ第20回記念大会 第20回水辺フェスタ レポート …… 10
港区ベイエリア イベントカレンダー …… 11
読者ギャラリー・編集後記 …… 12



◆次号(第77号)は令和9(2027)年3月上旬発行予定

芝浦水再生センターポンプ棟

港区 80周年 MINATO CITY



港区ベイエリア新名所レポート

世界最大級の噴水がお台場に誕生！ 東京アクアシンフォニー

お台場海浜公園に、世界最大級の噴水「東京アクアシンフォニー」が誕生しました。音楽と光が織りなすダイナミックな演出は、令和8（2026）年3月28日のオープン以来、多くの来場者を魅了しています。

今回のべいあっぷでは、演出のこだわりから開発の裏側、今後の展開まで、東京都の事業担当者にお話を伺いました。

世界でも珍しい！ 海に設置された最大級のスケールの噴水

●東京アクアシンフォニーの見どころを教えてください。

何といっても世界最大級というスケール感です。高さ約150m、横幅約250mというダイナミックな噴水は、世界最大規模。この場所を東京の新たなランドマークにしたいという思いから、とにかくインパクトを出すことにこだわりました。

高い場所から見ると、噴水がソメイヨシノ（桜）の形に見える演出も見どころの一つです。また、噴水の色は、楽曲のイメージに合わせるとともに、東京の水辺の景観とも調和するよう設定しています。

●開始時間が15時からに変更になったのはなぜですか？

音楽と光を組み合わせた演出は、日が傾き始める時間帯からが一番映えます。昼間の青空と噴水の組み合わせもとてもさわやかですが、どうしても噴水や光の迫力が伝わりにくいのです。そこで現在は、夜間演出を充実させるために15時からの開始とし、日が沈んでから多くの方に楽しんでいただけるようにしました。

●運用開始にあたって苦労したことは何ですか？

国外も含め、海上に大規模な噴水を整備した事例は極めて少なく、本事業は新規性の高い取組でした。整備にあたっては、様々な技術的検討を重ね、フロート（水面に浮かぶ構造物）に噴水ノズルやLED照明、電気配線などを設置する構造を採用しました。

また、オープン後の円滑な運営に向けて、水域利用者や地域にお住まいの方々への丁寧な説明を重ねながら運営ルールを策定しました。



◀実は、噴水が水に浮かんでいるという、珍しい構造



▲昼はさわやかに、夜は幻想的にと、昼と夜の噴水ショーでは、まったく異なった印象に。空高く吹き上げる噴水も見どころの一つ

目的は「にぎわい」と「ナイトタイム観光」の推進

●始めた目的を教えてください。

コロナ禍以降、お台場エリアの来訪者が減少していたことが背景にあります。エリアの多くの事業者や団体などからは、にぎわいのあるまちづくりの推進を求める声をいただいていました。東京都全体のにぎわいを増やし、国内に限らずインバウンドの方々にもお台場の魅力を発信していくことがねらいです。

●ターゲット層について教えてください。

「SAKURA FUBUKI」のプログラムは外国人のお客さまにも日本を感じていただけるように意識して作りました。一方で、使用楽曲には近年のヒット曲や『踊る大捜査線』のテーマなど、幅広い世代に親しまれる楽曲も採用しており、お子さまからご年配の方まで楽しんでいただけるプログラムを目指しています。

魅力発信と今後の展開について

●魅力発信のためにどんなことをされていますか？

チラシやポスターの配布、東京都広報、SNS（X、Instagram）での発信のほか、お台場海浜公園でのイベントとの連携も進めています。

例えば、7月に実施されたお台場プラージュや令和8（2026）年8月8日に開催された結婚おうえんキャンペーン「TOKYO八結び」のイベントでは、イベントに合わせた特別ライトアップを実施しました。より多くの方に親しんでもらえるよう、地域のイベントと連携しながら魅力発信に取り組んでいきます。

また、8月と9月は民間企業のドローンショーと連携した演出を行い、非常に多くの方に楽しんでいただきました。そのほかにも様々な企画を予定していますので、ぜひ続報にご注目いただきたいです。



◀毎年7月に行われるお台場プラージュでは、青、白、赤のフランス国旗をイメージした演出に

上演スケジュールやイベントの詳細は、ホームページやSNSにてご確認ください

東京アクアシンフォニー ホームページ

べいあっぷ編集委員 鑑賞レポート

東京アクアシンフォニーを鑑賞するなら、**自由の女神像の隣に位置する展望デッキからの眺めがおすすめ**です。海岸から間近で見る迫力も魅力ですが、噴水の足元にあるソメイヨシノの形をした吹出口は見えにくいため、少し高い位置から眺めることで、音楽に合わせて変化する噴水の動きをより楽しめます。

また、日が暮れると、レインボーブリッジや東京タワーなど、お台場ならではの夜景を背景に噴水がライトアップされるため、水辺の景観との調和を大切にした色とりどりの光の演出も見逃せません。

実際に、東京アクアシンフォニーのプログラムの一つである米津玄師さんの『Iris out』を鑑賞したのですが、楽曲のリズムや盛り上がりに合わせて噴水が動く様子がとても印象的で、音楽と噴水の音が重なることで、こんなにも気分が高まるのかと自分でも驚きました。よく知っている曲だったため、ショーをより楽しむことができました。

お台場の夜景、水辺、そして壮大な噴水ショー。東京アクアシンフォニーならではの音楽と光が織りなす景色を、ぜひ現地で体感してみてください。（M.T.）

芝浦港南地区

公共施設探訪

第1回

こんなにありがたい施設が、こんな身近にあったなんて!

芝浦水再生センター



皆さんは「芝浦水再生センター」をご存じでしょうか?

旧海岸通り沿いに静かにたたずむ白い施設群。一見するとそれほど大きな施設には見えませんが、


本館

その地下には広大な下水処理施設が広がり、私たちの暮らしを支える重要な役割を担っています。

地上には、公園や高層ビルが整備され、その足元で、24時間365日、下水をきれいにする営みが続けられているのです。私たちの知らないところで、安全で快適な暮らしを陰で支える、まさに「縁の下の力持ち」のような存在です。



港区港南1-2-28

歴史ある東京の重要インフラ

芝浦水再生センターは昭和6(1931)年に稼働を開始した、東京で3番目に古い水再生センターです。

昭和39(1964)年の東京オリンピックを契機に下水道整備が大きく進み、その処理施設の需要が高まりました。現在、芝浦水再生センターでは、千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区の大部分と、品川区、文京区、目黒区、世田谷区、豊島区の一部という、山手線の内側に相当する広いエリアの下水を処理しています。

芝浦水再生センターの大きな役割

①汚れた水を再生し、快適な生活環境を守る

家庭やオフィス、工場などから流された下水は、下水道管を通って、水再生センターに集められます。施設では沈殿処理をはじめ、微生物の力を利用した生物処理など、いくつもの工程を経て、下水が浄化されて、川や海へ放流されています。

②浸水から街を守る

近年増えているゲリラ豪雨や集中豪雨に備え、芝浦水再生センターには、17台のポンプが整備されており、道路や住宅


▶品川シーズンテラスの地下に設置された雨天時貯留池。豪雨の際に威力を発揮する

地への浸水被害を防ぐ重要な役割も担っています。

また、降雨初期の時に汚れた雨水を貯留する**雨天時貯留池**が品川シーズンテラスの地下に整備されています。

もしこの施設がなければ、街はあっという間に水浸しになってしまうでしょう。有事の際にこそ、その真価を発揮する頼もしい施設です。

都市とインフラが融合した先進施設

芝浦水再生センターの大きな特徴は、広大な施設の上部空間を活用して、緑地や運動施設を備えた**「区立芝浦中央公園」**と、商業施設やオフィスビルから成る**「品川シーズンテラス」**が建設されていることです。ここでは、水再生センターで再生された水をトイレ用水として利用しているほか、空調設備の熱源としても活用されています。都市開発と社会インフラが一体となった、全国的にみても先進的な取り組みです。

さらに、再生水処理工程において国内で初めて、ろ過材にセラミックを採用した再生水製造施設が稼働しており、低コストで安定した再生水の供給を実現しています。

オゾンと膜ろ過を経た再生水は、近隣のオフィスビルのトイレ用水などにも有効利用されています。

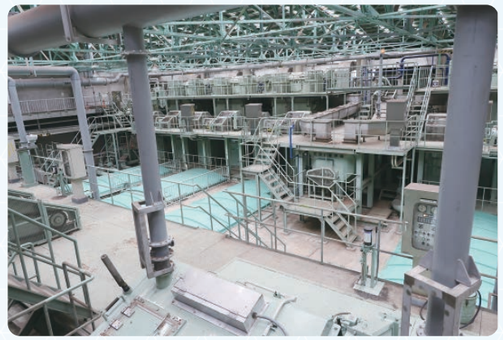
私たちにできること

高度な処理技術によって下水処理がなされているとはいえ、水環境を守るため、そして下水処理の負担を軽減するためには、私たち一人ひとりの心がけが欠かせません。まずはできることから始めてみましょう。

- **油は、紙などで拭き取ってから流しましょう。**
- **トイレットペーパー以外の紙やティッシュ、ビニールなど水に溶けないものは流さないようにしましょう。**
- **ガソリンやシンナーなどの危険物は絶対に流してはいけません。下水道内で爆発事故につながるおそれがあります。**

見学を終えて

今回の見学を通して、私たちが毎日家庭や事業所から排水している下水の処理は、芝浦水再生センターをはじめとする、多くの方々の努力と高度な技術によって支えられていることを改めて実感しました。そして、美しい水環境を未来へ引き継ぐためには、私たち一人ひとりの行動がいかに大切であるかも学びました。


▲最初に土砂類を沈殿させ、大きなごみを取り除く沈砂池


▲微生物の入っている活性汚泥を使って汚れを分解する反応槽


▲3～4時間かけて、反応槽で処理された水を上澄み(処理水)と汚泥に分離する第二沈殿池。時折カモが飛来するほどきれいな水へと再生される

芝浦水再生センターでは、個人、団体に関わらず、施設見学ができます(要予約)。普段は見ることのできない巨大な設備や、水が再生される仕組みを間近で学べる貴重な機会です。ぜひ一度ご自身の目でご覧になってみてはいかがでしょうか。

施設見学予約受付サイト

こんなにすごい施設が、こんな身近にあったんだ!

きっと、そんな発見があるはずです。 (S.H.)

べいあっぷ編集委員が
おすすめする

地域のスポット

連載◆第33回

お台場の3区境界線
Odaiba's Three-City Boundary

●普段気にしない境界線を考えてみる

「お台場」といえば、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか？

お台場海浜公園、自由の女神像、フジテレビ、ガンダム像※、ダイバーシティ、潮風公園、船の科学館、日本科学未来館…などが思い浮かぶと思いますが、この中で港区にあるのは実は最初の3つだけで、残りは品川区と江東区にあることをご存じでしたか？



▲実は江東区民※
※令和8（2026）年8月末展示終了
Actually, It's a resident of Koto City.
※The exhibition ended at the end of August 2026.

調べてみると、お台場エリアは、正式には「東京臨海副都心」という名称で、昭和54（1979）年に完成した埋立地です。そして、港区、品川区、江東区の間で、調停によって、昭和57（1982）年に、今の区分になったそうです。

レインボーブリッジから3区の境界線方向を眺めても、知らなければ、どこがどの区なのか、まず気がつかないでしょう。ちょうど海へ出て行った船の曳波が続き、もし海上に港区と品川区の境界線を引くならこんな感じになるのかなあ…と思いました。

●実在しない境界線

お台場海浜公園（港区）を通り抜け、モノレールの台場駅をくぐり抜け、潮風公園（品川区）に着くと、区の境界線の目印である波型の石のブロックが並んでいました。3区の境界点は目印となるものはなく、現地を歩いてもまったく気がつきませんでした。世界では、国境に石碑などが置かれ、ちょっとした観光名所となっているケースもあります。せっかくなら3区共同でオリジナルグッズとか作れば、新たな観光スポットになるのでは…と、夢が大きく膨らみます。

ぜひ皆さんも、普段とはちょっと異なった視点で、お台場を歩いてみてはいかがでしょうか？

よく知っている場所も「え、ここは港区じゃないんだ！」と、新しい発見があるかもしれません。（T.H.）



▲レインボーブリッジからの景色。曳波が海上の境界線のような雰囲気
View from the Rainbow Bridge. The ship's wake creates the impression of a boundary line on the water



▲品川区側から港区（左）と江東区（右）を見る
View of Minato City (left) and Koto City (right) from the Shinagawa City side





▲港区と江東区をつなぐウエストパークブリッジから品川区方面を見る
View toward Shinagawa City from the West Park Bridge, which connects Minato City and Koto City

●Taking a Closer Look at an Overlooked Boundary

When you hear "Odaiba," what images come to mind?

You probably think of Odaiba Marine Park, the Statue of Liberty replica, Fuji TV, the Gundam statue at DiverCity Tokyo Plaza, Shiokaze Park, the Museum of Maritime Science, or Miraikan. But did you know that only the first three are actually located in Minato City, while the others are in Shinagawa City and Koto City?

Looking into it, it turns out that the Odaiba area is officially known as the "Tokyo Waterfront City," a reclaimed area completed in 1979. The current boundary between Minato City, Shinagawa City, and Koto City was established in 1982 through mediation.

Even looking toward the boundary between the three cities from the Rainbow Bridge, unless you already know where it is, you would probably never notice which area belongs to which city.

Looking out across the water, you can see the wake of a ship heading out to sea stretching into the distance. It made us wonder whether the boundary line between Minato City and Shinagawa City might look something like this if it were drawn on the water.

●The Invisible Boundary

After passing through Odaiba Marine Park (Minato City), and under Daiba Station on the monorail, you arrive at Shiokaze Park (Shinagawa City), where there is a row of wavy stone blocks marking the boundary between the two cities.

There is no marker that clearly delineates the point where the three cities meet, and even strolling through the area you wouldn't notice at all. In some parts of the world, there are instances where monuments or similar markers are placed at national borders, turning them into minor tourist attractions.

It is exciting to imagine that if the three cities collaborated to create original merchandise, this could become a new tourist attraction as well.

Why not take a walk around Odaiba from a slightly different perspective? Even in a place you know well, you may discover something new. You might find yourself saying, "Wait, this isn't Minato City!"

編集委員が選んだ

おすすめグルメスポット【VOL.7】

港区のフードロス削減に取り組んでいる
食べきり協力店の中から、
編集委員が選んだお店を紹介!

品川埠頭にたたずむ「品川台場食堂」。
目の前には積み上げられたコンテナ群、日常とは異なる景色も圧巻です!

メニューが豊富！ 毎日でも通いたくなる大衆食堂
品川台場食堂

●誰でも利用できる穴場的存在

品川台場食堂は品川埠頭という立地から、埠頭で働く方々だけの利用と思われがちですが、実は一般利用も可能です。店内は天井が高く開放感があり、清潔感も感じられる心地よい空間です。席数も多く、駐車場も完備。とてもゆっくりとした時間を過ごせます♪

●朝食とランチが食べられる! セルフ形式の食堂

朝は7時からオープン。おいしい朝食が用意されています。午後は2時まで営業しているので、ゆっくりとランチを楽しむこともできます。

店内に入ったらまず食券を購入し、トレーを持って奥へ進み、お料理をピックアップします。

●ボリューム満点な豊富なメニュー

品川台場食堂の特徴はなんといってもメニューが豊富なこと。

朝食は定食2種、ランチは4種の日替わり定食に加え、定番の定食や麺類、カレー、小鉢、ソフトドリンクなど盛りだくさん。それに加えてボリュームも満点です。

日替わり定食は毎日、毎週メニューが変わるので、1か月通っても飽きません。全種類を制覇したくなりますね。

●「おいしいものを届けたい」というシェフのこだわりに感動!

取材中にとても印象的だったのは、「おいしいものを届けたい」というシェフの言葉でした。食材もこだわっており、スープなどもすべて手作りだそうです。おいしいに決まってますよね♪ 定番の「担々麺」と「油淋鶏定食」は人気メニューだそうなのでぜひご賞味を!!

とにかくリーズナブルでおいしそうなものがたくさん。品川台場食堂にぜひ足を運んでみてください。



▲人気メニューの担々麺（ミニカレーセット）。おいしそう～♪





▲日替わり定食のほかにもメニューが豊富です。その日の気分によって選ぶことができます



▶ガラスケースは豊富なメニューでいっぱい。価格もリーズナブル（朝定食450円～、かけそば310円～）



港区港南 5-11-25
【連 絡 先】☎03-3472-1338
【営業時間】7:00～14:00
【定 休 日】日・祝・年末年始



▲品川埠頭にひょっこりと現れる品川台場食堂。「港湾労働者休憩所」とありますが、一般の方も利用できます



▲天井が高く、開放感のある心地良い店内。ゆっくりと食事を楽しめます

芝浦港南地区総合支所からの お知らせ

Information

総合支所 「みなとパーク芝浦フェスティバル」を開催します！


令和8(2026)年の様子


令和8(2026)年の様子

みなとパーク芝浦内の各施設と伝統文化交流館などが協力して、みなとパーク芝浦を利用している様々な世代が交流し、地域を盛り上げることのできるイベントを開催します。
詳細は「広報みなと」2/1号に掲載されます。

●開催日　令和9(2027)年3月6日(土)
●開催場所　みなとパーク芝浦(港区芝浦1-16-1)

▶問合せ
芝浦港南地区総合支所
管理課 管理係
☎03-6400-0036

総合支所 みなとパーク芝浦 臨時休館

法定点検のため、下記の日程で、みなとパーク芝浦全館を臨時休館します。消費者センター、介護予防総合センター、男女平等参画センター、港区スポーツセンター、港区在宅療養相談センター、区民協働スペース、ローソン、駐車場も利用できません。
皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●臨時休館日　令和8(2026)年11月21日(土)～22日(日)

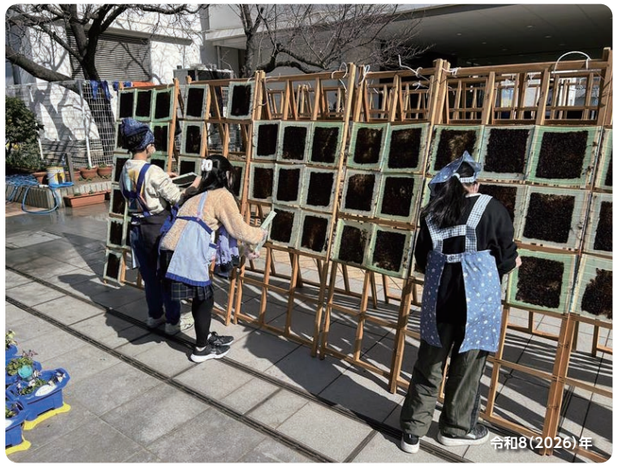
▶問合せ
芝浦港南地区総合支所
管理課 管理係
☎03-6400-0011

総合支所 お台場冬の風物詩！！ お台場海苔づくりが1月からスタート

お台場学園港陽小学校5年生の総合的な学習の一環で「海苔づくり」の環境学習を行っています。この取組は、地域や関係団体などで構成される「Team お台場海苔づくり」の協力により実施しています。令和9(2027)年2月の最終摘み取りまで観察を続けながら、海苔を育てていきます。
今年度は以下の日程で予定しています。ぜひ、見学、体験にお越しください。

〈 ひび(支柱)立て、海苔網張り〉
●開催日　令和9(2027)年1月9日(土)
●開催場所　お台場学園(港区台場1-1-5)
都立お台場海浜公園(港区台場1-1-5)

〈 最終摘み取り、海苔すき、食育体験〉
●開催日　令和9(2027)年2月27日(土)
●開催場所　お台場学園(港区台場1-1-5)
都立お台場海浜公園(港区台場1-4)


令和8(2026)年
海苔を干している様子


令和8(2026)年
ひび立ての様子


令和8(2026)年
海苔の摘み取り作業

▶問合せ
芝浦港南地区総合支所
協働推進課 台場担当
☎03-5500-2365

都税のお知らせ

にせ都税メール・電話にご注意ください!

都税事務所の職員を装って、個人情報を不正に取得したり、金銭をだまし取ろうとしたりする事例が発生しています。不審に感じた場合は即答せずに、下記問合せ先までご連絡ください。
また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

▶問合せ
主税局総務部総務課相談広報班　☎03-5388-2925

都税がスマートフォン決済アプリで納付できます

都税の納付にスマートフォン決済アプリをぜひご利用ください。アプリ内で納付書に記載の地方税統一二次元コード(eL-QR)を読み取るだけで、いつでも、どこでも、簡単に納付できます。
詳細は、東京都主税局ホームページをご確認ください。

主税局ホームページ



災害などにより甚大な被害を受けた方に対して都税を減免する制度があります



災害などにより甚大な被害を受けた方に対して、一度課税された税金のうち、納期限前のものを被災の程度などによって減免(軽減または免除)する制度があります(納税を猶予する制度もあります)。対象は、固定資産税・都市計画税(23区内)、不動産取得税、個人事業税などです。
原則として、納期限(不動産取得税を除く)までに、納税者ご本人からの申請が必要です。被災の事実を証明する書類を添えて、都税事務所へ申請してください。

▶問合せ　港都税事務所　☎03-5549-3800(代表)



EVENT REPORT

区政80周年・水辺フェスタ第20回記念大会

第20回水辺フェスタ レポート



◀白熱した戦いを繰り広げたボートレース

▼トロフィーを受け取って喜びいっぱい（芝浦・海岸地域）





▲周年記念イベントのスプラッシュターゲット



▲周年記念レース



▶仲間といっしょにゴール!!

令和8（2026）年9月13日(日)、お台場海浜公園を会場に「第20回水辺フェスタ」を開催しました。当日は心配された天候も回復し、過ごしやすい気温の中、多くの来場者でにぎわいました。

今年は、第20回の節目を迎えるとともに、港区政80周年、お台場のまちびらき30周年を記念した大会として実施しました。記念企画として、芝・麻布・赤坂・高輪の4地区による周年記念レースを開催し、各地区の代表チームが熱戦を繰り広げました。

会場内には、水辺フェスタ20回までの歩みや芝浦港南地区と港区の歴史を振り返る展示ブースを設置したほか、周年記念イベントとして、水鉄砲で的を射抜くスプラッシュターゲットも実施し、多くの方にお楽しみいただきました。

また、メインイベントである芝浦・海岸、港南、台場の3地域対抗ボートレースやステージイベントも行われ、会場は終日活気に包まれました。

3地域対抗ボートレースでは、**芝浦・海岸地域が優勝**。令和5（2023）年度から3年ぶりの優勝に、会場からは大きな歓声が上がりました。

多くの関係団体やボランティアの皆さまのご協力により、記念すべき第20回大会を無事開催することができました。

港区ベイエリア

イベントカレンダー

令和8（2026）年 11月 ～ 令和9（2027）年 3月

※日時や内容が変更になることがありますので、必ず各施設の最新情報を確認してください。

乳幼児から楽しめる!

にじのはし幼稚園

☎03-5500-2577　ホームページ

●にじっこキッズ（未就園児の会）



日時：毎週火曜日開催予定
10:00～12:00
※開催日等、詳しくはホームページをご確認ください。
場所：にじのはし幼稚園

にじっこキッズのほかに、平日に絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご覧ください。

乳幼児から楽しめる!

芝浦幼稚園

☎03-3452-0574　ホームページ

●園庭・たんけん広場開放



日時：平日 月曜日～金曜日 9:30～15:30
場所：芝浦幼稚園 園庭・たんけん広場

●地域の乳幼児親子対象 りんごちゃんくらぶ

日時：水曜日 9:30～11:00
場所：芝浦幼稚園 保育室、ホール、園庭など

詳しくは、園までお問い合わせください。

乳幼児から楽しめる!

港南幼稚園

☎03-3471-7347　ホームページ

●未就園児の会 かもめっこデー



日時：毎週水曜日 10:30～12:00
場所：港南幼稚園 2階多目的室・園庭

園庭開放も行っています。日程など、ホームページをご確認ください。



Let's enjoy lots of events!!

年配の方にオススメ!

芝浦港南地区高齢者相談センター

☎03-3450-5905　ホームページ

●かいごカフェ&港南deオレンジカフェ



日時：12/11（金） 14:00～15:15
場所：さんぽーと港南（港南区民協働スペース）

●かいごカフェ

日時：1/8（金）・3/12（金） 14:00～15:15
場所：さんぽーと港南（港南区民協働スペース）

●台場deオレンジカフェ&台場出張相談会

日時：1/26（火）・3/23（火） 10:30～11:30
場所：台場ふれあい団らん室

●港南deオレンジカフェ

日時：2/12（金） 14:00～15:15
場所：さんぽーと港南（港南区民協働スペース）

どなたでも!

台場区民センター

☎03-5500-2355　ホームページ

●楽しくダンス体験 人気のJ-POPやK-POPの楽曲で踊ろう



日時：12/5（土） 第1部 13:30～14:30
第2部 15:00～16:00
場所：台場区民センター 区民ホール

初心者大歓迎（誰もが楽しめるダンスイベントです。）

●おはなし会（乳幼児対象）



日時：毎月原則第1火曜日
14:40～（およそ30分）
場所：台場区民センター 和室

大型絵本や紙芝居、手遊び歌を一緒に楽しみましょう。

どなたでも!

芝浦一丁目町会

☎090-2566-2142　ホームページ

●芝浦一丁目町会もちつき大会



日時：12/13（日） 11:00～
場所：芝浦一丁目 南浜町児童遊園

無料で餅、焼きいも、豚汁を配布します